



図書館の使い方も進化する

図書館と言えば、本を読む・借りるところ。もちろんそうですね。
でもそれだけではありません。より良い学習の場として図書館も進化しています。
ここでは、場所の確保が難しい「グループ学習」に最適な施設をご紹介します。



電子黒板とタブレット、スマホとの連携



ディスカッションルーム



NAGOYA
LIBRARY

名古屋図書館

ディスカッションルーム & 電子黒板

可動式の机や椅子、パーティションにもなるホワイトボード、可搬式のプロジェクターなど、グループ学習やプレゼンテーションの練習に最適な空間として好評で、連日多くの学生でにぎわいをみせています。

パブフェスやゼミの発表が近づくと、名古屋図書館の貸出用パソコンを利用してその準備に取り組む学生が多く見られます。パソコンとSurfaceの貸し出し台数も大幅に増え、利便性がさらに高まりました。

実はもう一つ新しい機器が導入されているんです。タブレットやスマホとの連動が可能な大型ディスプレイ式の電子黒板です。皆さんの中には中学や高校で使ったことがある方がいるかもしれませんね。

液晶画面をタッチ操作して自由に文字などを書き込んで論点の明確化を行うなど、画面に表示されたコンテンツに書く・消す・拡大する・保存することが可能な双方向学習のできるICT機器です。

例えばゼミやサークルでの課題をみんながデータで持ち寄り、それらを同時に表示・共有して比較検討するなど、さまざまな使い方が考えられます。

今後、図書館としても活用していきたいと考えています。もし利用希望があればカウンターに相談してくださいね!

TOYOHASHI
LIBRARY

豊橋図書館

ラーニングcommons & グループ学習室

豊橋図書館では、学生の皆さんによる自主学習や研究活動のための環境を用意しています。

ひとりでの学習には、開架室2階や3階の閲覧席をご利用ください。静かな環境なので、集中できて勉強もはかどります。

グループによる学習には、1階のラーニングcommonsが最適です。人数によって自由に組み合わせられるテーブルと椅子があり、ホワイトボードも使用できます。パソコンが設置されたテーブルもあります。グループで資料を共有して意見交換するには最適な環境です。

もし10名を超えるような大人数でミーティングを行う必要があれば、グループ学習室を予約していただくことをお勧めします。扉を閉めて利用できますので、議論が白熱して声が多少大きくなっても大丈夫です。パソコン画面を投影するプロジェクターとスクリーンも常設されているので、発表の練習などに活用できます。

そして何より、豊橋図書館には80万冊を超える蔵書があります(開架室20万冊、書庫60万冊)。入庫証※1があれば書庫に立ち入ることができ、80万冊以上の中から、自分に必要な資料を実際に手に取って探すことができるのです。傍らに必要な資料を置いて学習・研究を行うというスタイルが、図書館の一番の活用方法です。存分にご活用ください。

※1 入庫ガイダンスを受講すると交付されます。入庫ガイダンスの開催日程は図書館ホームページや掲示等でご確認ください。



ラーニングcommons



グループ学習室



開架室